

2021(令和3)年度 SD 研修 「大学職員研修を実施するためのインストラクショナルデザイン(ID)研修」 開催報告

日 時： 2022(令和4)年3月3日(木) 14:00~17:15(情報交換会 17:15~18:00)
会 場： オンライン(Zoom)
企 画 統 括： 浅田 晋太郎氏(研修部会推進委員会 委員長、大阪女学院大学 常務理事・事務局長)
企画コーディネイト： 清水 栄子氏(研修部会推進委員会 委員、追手門学院大学 基盤教育機構/教育開発センター 准教授)
講 師： 宮原 秀明氏(研修部会推進委員会 副委員長、大阪学院大学 大学事務長代理)
申 込 者 数： 11 大学 15 名(うち会員外 2 大学 2 名)
参 加 者 数： 11 大学 15 名(うち会員外 2 大学 2 名)
内 容 詳 細： 大学コンソーシアム大阪 HP 掲載の「シラバス」参照
実 施 結 果： 同上掲載の「参加者アンケート/PDF」参照
企 画・運 営： 大学コンソーシアム大阪 研修部会推進委員会

今回の大学コンソーシアム大阪(以下、コンソ大阪という)の「SD 研修」は研修担当講師の所属する大阪学院大学での実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、配信元を大阪学院大学としてオンライン(Zoom)で実施した。

本研修は反転授業形式とし、事前に参考資料確認と動画視聴、事前課題(計画書)の提出が課された。

冒頭に講師より、研修目標の共有と研修の流れの説明があった。

続いて、アイスブレイクとして、受講者全員が自己紹介と事前課題である各自の研修計画書の紹介を行った。



宮原講師(大阪学院大学にて)



その後、課題の例示として講師が考えるコンソ大阪の初任者研修の研修計画書の説明があった。例示をもとに活性化を目的としたワークとして各自で研修をより良くするための方法、ほかに必要なことがないかを考えた後、ペアで意見交換を行い、最後に全体で意見を共有した。

休憩を挟んで後半に入る前に事前視聴動画について受講者に感想を聞いたところ、「クオリティが高く驚いた。」「内容がわかりやすく、改めてIDに興味を持った。」「必要に応じて何度も視聴することができて良かった。」「事前に動画を視聴することでベースになる知識を習得でき、効果的に研修を受講できる要因になった。」との声があった。

後半は、ADDIEモデルの振り返りを行ったうえで、ワークとして各自の計画書の見直し、ペアで意見交換を行いそれを全体で共有した。



事前視聴動画

清水委員より、「事前動画の視聴や事前課題に取り組んだうえで本日の研修に参加いただいたみなさまだからこそ、改善点や新たな気づきを発見し、今後の実践で活かしていこうと感じられたかと思う。また、受講者同士の意見交換を通して視点や意識に変化があったように見受けられた。事前動画では、ADDIEモデルでの「フィードバックと改善」の重要性が強調されていた。個人での振り返りによる気づきは限られている。今回の研修で知り合った受講者同士のネットワークをぜひ活用していただきたい。」との言葉があった。



清水委員



浅田委員長

浅田委員長より、「長年、一人で様々な課題を設定・立案してきたが、忙しいために後輩に伝えることができていなかった。管理職が風通しをよくし、バックアップできる環境を作り、現場で課題を感じている人が声を出せるような環境整備が重要と感じた。課題解決の体験を自身だけに留めず、学内に広めていく工夫をしてほしい。常に課題は何か、どう解決するかを考えることは組織にとって大事なことだけではなく、自身の人生を豊かにしてくれると考える。」との言葉があった。

最後に、受講者アンケートを実施し、研修を終了した。

後日、受講者には「受講証明書」が配付された。

加えて、研修の事後課題が受講者全員に連絡された。これは、少し時間を置いた後に理解度を確認することを目的としている。また、研修後の行動変更や実践を促すため、より実現できそうなものに修正した計画書の再提出を求めている。

以上